土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川　太田川水系　寺山川外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.1	調査位置	測線No.9、R-5m	北緯	34° 26' 23.6781"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月21日～ 令和2年12月23日	東経	132° 32' 33.7946"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	DL 223.30m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	8° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーNS-130 / ポンプ：東洋BP1

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	221.65	1.65		砂		暗褐	rd1		中～粗砂の砂を主体とする 径2cm以下の礫を少量混入する	
2	221.00	2.30		玉石		灰白			花崗岩質 L＝0.65mの転石	
	220.65	2.65		粘土混じり砂		褐	rd3		細～中砂の砂を主体とする 細粒土分を10～20%含有する GL-2.45mの標準貫入試験は玉石に当る	12/23 2.60
3				玉石		淡灰白			花崗岩質 L=1.45mの転石 部分的に潜在亀裂が発達しL=5～15cmのコアで採取する	
4	219.20	4.10		粘土混じり礫混じり砂		暗灰褐	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径4cmの礫を20～30%混入する 細粒土分を10～20%含有する	
5	218.20	5.10		花崗岩		灰褐			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している	
6	216.70	6.60		花崗岩						
7	216.30	7.00		花崗岩		淡灰褐			DH級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している L=5cm以下のコアで採取するが指圧で細礫化する	
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1 / 230	1 / 180		2 / 410		
	1.56						
50以上	2.45	18	8	24 / 10	50 / 210	210	
	2.66						
16	4.25	4	7	5	16 / 300		
	4.55						
50以上	5.15	21	29		50 / 200	200	
	5.35						
50以上	6.05	50			50 / 100	100	
	6.15						
50以上	7.00	50			50 / 20	20	
	7.02	20					

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/21
				12/22
				12/23